臺灣日日新報 夕刊
八月二十五日
夕刊定價一部二錢
編輯兼發行人 佐々木
臺北市榮町四丁目廿二番地
發行所 臺灣日日新報社
基隆市旭町（電話七八五）基隆支局
臺中市寶町（電話七〇七）臺中支局
臺南市錦町（電話貳〇）臺南支局
花蓮港街入船町 花蓮港支局
大阪市西區靱南通貳丁目（ユタカビルディング內）大阪支局
東京市京橋區銀座西一丁目（…內）東京支局

日本の 星ソース

瑞昌を遂に占領
平田、石本、中島部隊
凄壯なる大激戰

【瑞昌城外にて二十四日同盟特派員發至急報】平田、石本、中島、松田の諸部隊は頑強に抵抗する敵を撃破し二十四日午後一齊に瑞昌城外に殺到、遂に午後五時平田部隊の先鋒原田隊は東門を破り雪崩を打つて城內に突入、城樓高く日章旗を翻へした、後續部隊も續々入城し目下城內の殘敵掃蕩中（號外再錄）

【上海二十五日發同盟】中支軍二十四日午後十一時發表＝九江方面より西進、瑞昌攻略に任ぜるわが部隊は百四十度の炎熱を冒しつつ頑強なる敵の抵抗を撃破し二十四日午後四時遂に瑞昌を占領せり

幾度も物凄い白兵戰

【瑞昌二十四日發同盟】二十三日瑞昌市內を眼下に見下す重要據點八字山の高地を占據した石本部隊と呼應して左翼より進出した平田部隊は二十四日拂曉より瑞昌縣城に向け猛撃を開始した、敵は城外に築いた數段の陣地に據り頑強に抵抗したがわが將兵はこの敵陣地を奪取せんと殺到、果敢なる突撃を敢行、その度毎に猛烈な白兵戰が演ぜられた、敵は二回に亙り手榴彈を投擲しながら逆襲し來り死物狂ひの抵抗を試みた、これがため僅か二、三粁の距離に肉薄しながら突入まで十數時間を要する激戰であつた、城壁の周圍には敵師隊以下無數の死骸が累々として轉がり物凄い戰場を生々しく物語つてゐる

物心兩方面の積極的協力を切望
けふ府評議會員懇談會

總督が告辭

長期戰下に於ける重大なる時局に對處して、官民協力一致、聖戰の目的達成に邁進すべく、本島に於ても特に島民に對して時局認識を深め國策に沿つて官民一致協力の實を擧げしむべく、既報の如く督府では、二十五日午前十時から督府正廳に府評議會員を招集、懇談會を開催した、小林總督、森岡長官以下各局長の外、田中軍參謀長、福田海軍武官、古山高等法院檢察官長等列席、上京不在の松木、後宮、木村、一見の四氏欠席の外、三十五名の府評議會員出席して開會、先づ小林總督の告辭あり、次で森岡長官の挨拶あつて、田中參謀長、福田海軍武官より時局に關する講演あつて正午休憩、會食の後午後一時から懇談に入つた、小林總督の告辭左の如し

昨年七月支那事變勃發致しまするや府評議會員各位の御參集を求め時局に對する本官の所信を披瀝し各位の特段なる御協力を得たのでありますが、爾來帝國政府の方針に即應し此の重大時局に對處して誤りなきを得たのでありまして此の間に於ける各位の御盡力に對し深く謝意を表する次第であります、然るに北支時局は更に重大を加へ、今や所謂長期建設の段階に入り、國民に益々一致團結、物心兩方面の總動員を強化し、以て我國策の遂行と皇軍の武勳に酬い且つ銃後の要務を完からしむるの要切なるものがあるに至つたのであります、依て本日茲に更に各位の御參集を煩はし一層の御協力を求め今後に期待したいと存ずる次第であります

皇室の御仁慈

ことは今更申上ぐる迄もないことでありますが、殊に事變勃發以來時局に對して深く御軫念遊ばされ皇軍將兵の上に大御心を注がせ給ひ我々銃後の國民の上に大御心を垂れさせ給ひ仁慈の程誠に畏くも亦畏き極みでありまして、近くは傷病兵御慰問の爲、皇族を全國各地に御差遣遊ばされ、本島には竹田宮故恒久王妃昌子內親王殿下の御成を辱うしたのであります、妃殿下には炎熱下各地病院に傷病將兵及軍夫を御慰問遊ばされ、銃後の援護狀況其の他各方面に亙り具に御視察を賜はりましたことは各位御承知の通りであります、斯くの如く皇室に於かせられまして銃後後援の事に斯く御軫念遊ばされ給ふを拜すると、只々恐懼感激の外ないのでありまして、我々銃後に在る者は深く相戒しめ粉骨碎身奉公の誠を致し、以て聖慮を安んじ奉り皇恩の萬一に應へ奉らねばならないと存ずる次第であります、殊に傷病軍人並に軍人遺家族に對する所謂、後援並びに軍事援護に付ては今後一層の御協力を煩はしまして銃後の務に萬遺憾なきを期したいと存ずるのであります

國民精神總動員

今次事變の勃發を見ますや、本島に於ても國民精神總動員の一大運動を起したのでありますが、爾來島民の誠り益々堅く本島統治の根幹たる皇民化促進の上にも一大飛躍的伸張を齎しつつありますことは邦家の爲慶賀に堪へない次第であります、惟ふに我國當面の最大事業は申すまでもなく新政權を徹底的に助けると共に眞に東洋の平和を齎すに足る新政權を援けて新支那の建設を期するにあるのであつて聖戰の目的は此の一点に集中せられてゐるのであります、然し乍ら支那の抗日、排日は其の由つて來る所甚だ深く且つ固執する所極めて廣汎複雜なるに思ひ及びまするとき、吾々銃後に於ては國民精神を益々振起し國家總力の結合を愈々鞏固にし以て此の聖戰の目的達成に擧國一致協力するの覺悟を新にせねばならぬのであります、而も本事變が長延くに從つて一層堅忍持久の決意を強化するの要があるのであります、此の際若し國民に倦怠の氣分を生じ或は緊張を缺くやうなことがあれば聖業完成の力を減ずるに至ることは必然でありまして、從て時局の進展に伴ひ國民精神總動員の目標たる使命は愈々重且大なるものを加へつつあるのであります、本島に於ても苟くも本島民をして我が國體に對する觀念を徹底せしめ時局に對する認識を深め、八紘一宇の大理想の下に帝國所期の目的達成に邁進せねばならぬのであります、而も本島の特殊事情に稽へまするとき本島民の皇民資質完成を推進せしむる所以でありまして、事變勃發以來の目ざましい島民銃後奉公の成果に徵すれば本島の皇民化も愈々第二段階に入つたと謂ふべきでありますが、之を部分より全體に、表面より裏面に徹底せしむるは今後に在りと謂はねばならぬのであります、即ち官民指導階級は此の點自發的奮勵を以て率先垂範懇切に指導誘掖する所がなければならぬと思ひます、各位一層の御協力に期待致す次第であります

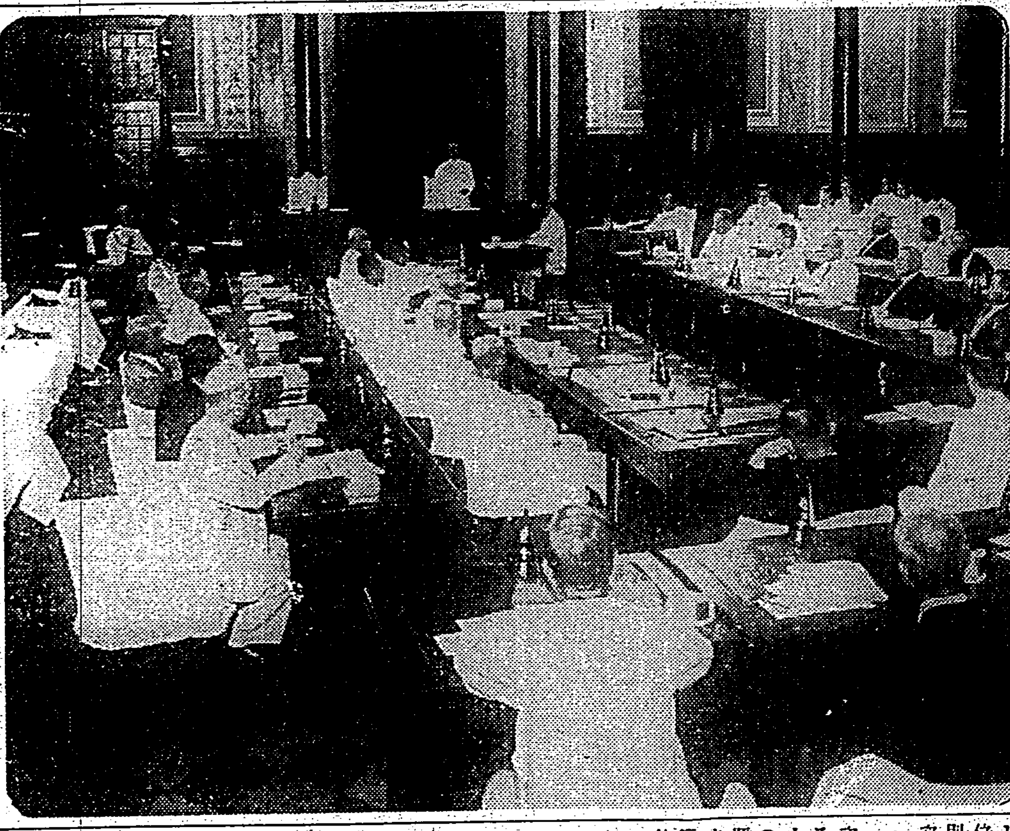
物資動員計畫

次に事變勃發に依り我國民經濟は生產力の擴充強化及主要原料の自給自足を中心とする戰時經濟體制へ急轉回し政府は日、滿、支を一體とする共榮的國策に基く戰時經濟の整備を期する爲幾多の戰時立法を致しましたが、本府に於きましても中央の方針に則應し種々の法令を公布し各般の施設を講じつつある次第であります、又近く六月二十三日に政府に於て物資動員計畫を決定發表し、國民の新なる覺悟と協力を求むる所があつたのであります、此の物資動員の目的は御承知の通り軍需の供給を確保すると共に國民經濟の維持を圖るに在るのでありまして國家總動員の根幹を爲すものであります、即ち今日の戰爭は資材戰又は消耗戰と言はれて居ります通り作戰上必要とする資材の供給如何は直に戰局を左右すると申しても過言ではないのであります、然るに之を自然の成行に放任すれば莫大なる需要の結果は國內物價の騰貴を招き、國際收支の惡化、對外爲替相場の下落等を齎らし、之等は相關聯して因となり果となり、遂には國家財政經濟の破綻を來し、戰爭其の物に影響するのみか國民經濟の破壞と爲る虞があるのであります、茲に於て物資の統制運用を最も有效適切ならしむる爲物資需給計畫を樹て一面輸出の振興、生產の增加、配給消費の統制の徹底強化を圖ると共に一面非常時國民生活樣式の確立に努めて消費を節約し貯蓄の增加を促し國債消化に資せしむるの要があるのであります、然るに之等財政、經濟政策の成否は一に國民が國策に對する物心兩方面の積極的協力に懸つて居るのであります、各位に於かれては之が趣旨の徹底に格別の御協力あらんことを切望する次第であります

移出米管理案

次に本島の產業は日、滿、支を通ずる綜合計畫に依り幾多の更新を見んとする情勢にありまするが、其の內重要なる案件移出米管理の問題に付て一言して置き度いと思ひます、此の問題は昨年來中央と折衝を重ねました結果、近頃大綱に付き意見の一致を見たのであります、が茲に本案の要旨を概略申し述べますれば本島米穀業界の現況を見まするに內地の米穀統制政策の影響を受けて本島の米價は不自然なる騰貴を來し之が爲却て本島の農業並に本島の全產業の健全なる發達を阻害するの結果と爲つて居るのであります、即ち不自然なる高米價の結果は農民をして米作偏重の傾向を馴致せしめ、爲に甘蔗、棉花、黃麻、蓖麻、甘藷等本島特有の而も國家有用の作物の增產に大なる障害を與へて居りますと共に他面內地の米穀政策に順應し米の急激なる增產を防止する爲水田の增加を來すべき水利施設は總て之を抑制し土地を殺して居るが如き現狀に在るのであります、加之現在の如き高米價の現狀は必然的に地價、地代、小作料、勞働賃銀等を漸次上昇せしめ、獨り農業の圓滑的發達を圖る上に於て不利なるのみならず本島の工業化、將來產業の健全なる發達の上にも重大なる障害を與へつつあるのであります、依て本島としては斯の如き米作偏重の現象と其の影響とが固定化しない內に速に之を是正し重要農作物の圓滑的增殖、農業の多角集約化、工業の促進等本島產業の國家的新使命を達成せしむる様誘導することが極めて必要のことと存ずる次第であります、此の點に立脚して立案せられたものが移出米管理案でありまして其の要綱は先般新聞紙上に發表しました通りでありますが、之が細部は近く內外地の關係官民を網羅する委員會を組織して愼重なる調査審議を遂げ實行の手續を進むる豫定であります、本案の實施は本島產業の健全なる發展を促し且つ帝國全體に於ける本島の存在を一層有意義ならしむる上に於て劃期的意義を有する重大問題でありまするが故に各位に於かれても今後之が進行に付直接間接の御協力あらんことを切望して已まないのであります

以上內外の情勢に鑑み本官の所信を披瀝し具に各位に希望する所を述べて御協力を求むる次第であります



けふ開かれた府評議會員懇談會

敵の大軍團動搖

【九江二十五日發同盟】二十三日未明以來前進を開始せる〇〇部隊の果敢なる猛進撃と海軍航空隊の協力に依り九江以西の敵第一線陣地は脆くも突破され、敵が大軍を集結して死守を企圖する二大據點武穴對岸馬頭鎭と瑞昌を結ぶ線は完全に我軍の確保する所となつた、これに依つて通江鎭、磯山を中心とする高地一帶の敵陣地は全く死命を制されて〇〇部隊の〇〇への進出は愈々有利に展開し、二十四日夕早くも〇〇の西南方〇粁に進出し戰果著しく擴大された、斯くて敵が武漢防衞の重鎭と恃んだ前線陣地は早くも其の半分を失ひ防衞に全力を傾けて死守せんとする〇〇要塞の戰略的價値は正に半減して長江の南北岸に據る敵十個師の敵大軍團は早くも大動搖の色を見せてゐる

平田部隊・郎君山を占領
算を亂して敵は潰走
我が軍の猛攻を支へ切れず

【瑞昌二十五日發同盟】二十四日夕瑞昌城に突入した平田部隊の一部は敗走する敵を急追して同夜城外西方四粁の郎君山を占領した

【上海二十五日發同盟】武漢三鎭を目差して九江より西進中のわが石本、平田、中島、山田、秋山、石川、武田、田中、原田、永井の各部隊は未だ去りやらぬ中支の炎熱下に猛擊を續け遂に二十四日午後五時敵の軍事據點たる瑞昌を占領、城頭高く感激の日章旗を翻した、瑞昌の防備に當つた敵は瑞昌警備の第二十二軍團、李漢の第七十軍團、羅卓英の第五十四軍團合計七個師で山東軍並に廣東軍の一部であるが北方赤湖と城門湖の間に起伏する山嶽地帶を突破せるわが軍の猛攻を支へ切れず算を亂して西方に潰走するに至つたものである

治安、政、經の最高方針を決定
廿五日 北支治安會議で

【北京二十四日發同盟】漢口陷落を轉機として招來さるべき新事態に即應するため中國臨時政府は鋭意行政機構の整備強化を圖つたが、これと竝行して北支治安の維持に任ずる現地當局では治安工作に遺憾なきを期するため治安維持を中心とし政治、經濟各方面に亙る根本的方策を確立すべく二十四日治安會議を開催した、同會議は二十五日も開催される筈で二十四日は各地首腦者より治安狀況並に政治經濟の實狀を報告、各地實狀に則應する對策具申などがあり二十五日最高方針の決定を見る豫定である、この結果北支の諸工作は右最高方針に基き愈々本格的建設工作に向つてスタートを切るべくその成果に大なる期待が掛けられてゐる

宜昌を爆擊

【上海二十四日發同盟】海軍報道部二十四日午後八時發表＝馬野少佐の率ゐる宜昌空襲隊は折柄の晴天に恵まれ宜昌飛行場を爆擊せり、空中、地上、敵機を認めず、悠々飛行場周圍格納庫、倉庫等を徹底的に爆擊せり、格納庫及び倉庫の大型建築物二棟は黑煙の交錯せるものを殘し炎上す、その他飛行場滑走路、指揮所等を爆破、全機無事歸還せり

ホルテイ攝政伯林に着く
盛大な歡迎大觀兵式

【ベルリン二十四日發同盟】ドイツ公式訪問中のハンガリー攝政ホルテイ提督夫妻はヒトラー總統同道二十四日午後六時半特別列車でハンブルグから晴れのベルリン入りを行つた、驛頭にはゲーリング空相を始め各國の首腦連が多數出迎へドイツ、ハンガリー交驩の盛觀裡に宿舍たる總統官邸に向つた、明二十五日はホルテイ攝政歡迎の大觀兵式が擧行されるが參加將兵一万六千餘名、戰車四百十二台、重砲二百八門及び軍用機百四十台といふ今までに前例のない大規模なものと云はれる

瑞昌は水陸交通の要衝

【上海二十五日發同盟】瑞昌の陷落によつて敵は武漢防衞陣の第一線中央を遮斷されたわけで爲めに南潯鐵道方面の三十個師と西、北方の防禦線たる武穴、廣濟方面部隊との連絡は全く絕たれ敵の左翼は多大の脅威を受けるに至つた、瑞昌は江西省瑞昌縣城の所在地であり九江の西方城門湖を距たる三十二粁の地點に在り、人口約一万、九江より瑞昌に至る一帶の地域には小丘山が散在し又城門湖は水禽物の集散地をもつて知られ城門湖九江間には舟運の便あり東西南北に通ずる水陸交通の要衝である

「日本の武士道を比島に移植せよ」
ケソン大統領が演說

【東京二十四日發本社特電】我が朝野の心からなる歡迎を受けて先頃歸國したケソン比島大統領は滯日中「日本が如何なる道德的基礎によつて東洋指導のために努力してゐるか」を感得し日本は決して好戰的ではなく又領土的野心を持つてゐるものでもない日本は東洋人のために努力してゐるのだ我々は歐米依存を捨てて日本と協力すべきであると云ふ意見を懷いて歸國したと傳へられてゐたところ、去る十九日全教員達に向つて「武士道精神」を主題とする國民精神總動員を行ふべき旨の大演說をなした旨二十四日木原マニラ總領事代理より外務省に報告があつた、當日の演說の題目は「日本より歸りて」とも云ふべきもので最近比島人の意氣振はざるを歎じ

これは過去四十年間米國に依存してゐるためリサールの如き愛國の志士が出なくなり全く依存してゐるためである、吾人は太平の夢を貪るべきでなく國力擴充の急務である、ところの人格を各自修養し國民精神を作興すべきである、敎會、街頭あらゆるものに通ずる倫理、個人の行爲を律する日本武士道の如き一種の社會法を定めて國民精神總動員を行ふべきである、政治家、宗敎家、社會教育家等は第一線に起つて日本武士道精神を比島に移植し國民教育の指導をなすべきである

と約二時間に亘る大演說をしたこのケソン大統領の演說は忽ち全國的に大反響を呼び起し日本武士道精神に關する各種の研究方を我がマニラ總領事館を通して外務省に依頼して來たので同省では早速大量に送附することとなつた

孫、蔣が會見

【香港二十五日發同盟】孫科は二十四日午前九時漢口に到着、午後蔣介石と會見したが、孫科が果して噂の如く行政院長に就任するか否か若しこれが實現するとせば陳友仁の外交部長も有力となり強硬な親ソ內閣となること疑ひないから、孫科今後の動向は頗る注目される

麥酒造石高新記錄

【東京二十四日發同盟】時局の酒界の不振に反し麥酒のみは却つて豫想以上の活況で大日本、麒麟の兩有力會社の如きは各工場を擧げて全能力を發揮してゐるにも拘らず到底需要に應じ切れぬ狀況を呈しつつあり、十二月末に於ける本年度內地麥酒造石高が新記錄を作ることは殆ど確實視されるに至つた、即ち去る七月末までの本年內地ビール造石高累計は百十二万五千八百五十石で既往の最高記錄たる昨年度の百二十六万千百七十四石に肉薄し、この調子で行くと本年度は百四十万石前後に達するものと豫想されるに至つた、これが原因として

一、消費節約、國民精神總動員の實行が寧ろ飲む側に於て麥酒を選ぶに至つた傾向

一、對外輸出の金額増加に見て昨年度より減退の傾向にあるも北支滿洲方面向輸出が寧ろ激增の一途を辿つてゐる

等の事情が擧げられてゐる

その日その日

新たに瑞昌を攫て、長江の上に“新城砦”を想見する。漢口への一番乘りはいかに

○

長江の南に沿うて、この調子で、陽新へ、大冶へ、鄂城へ、武昌へ

○

一番旺盛で猛烈なのは“所謂戰線”だけ——こいつだけは觸れれば燒けどするほど、而も此の造つた抗日教育のために、國土は灰燼

○

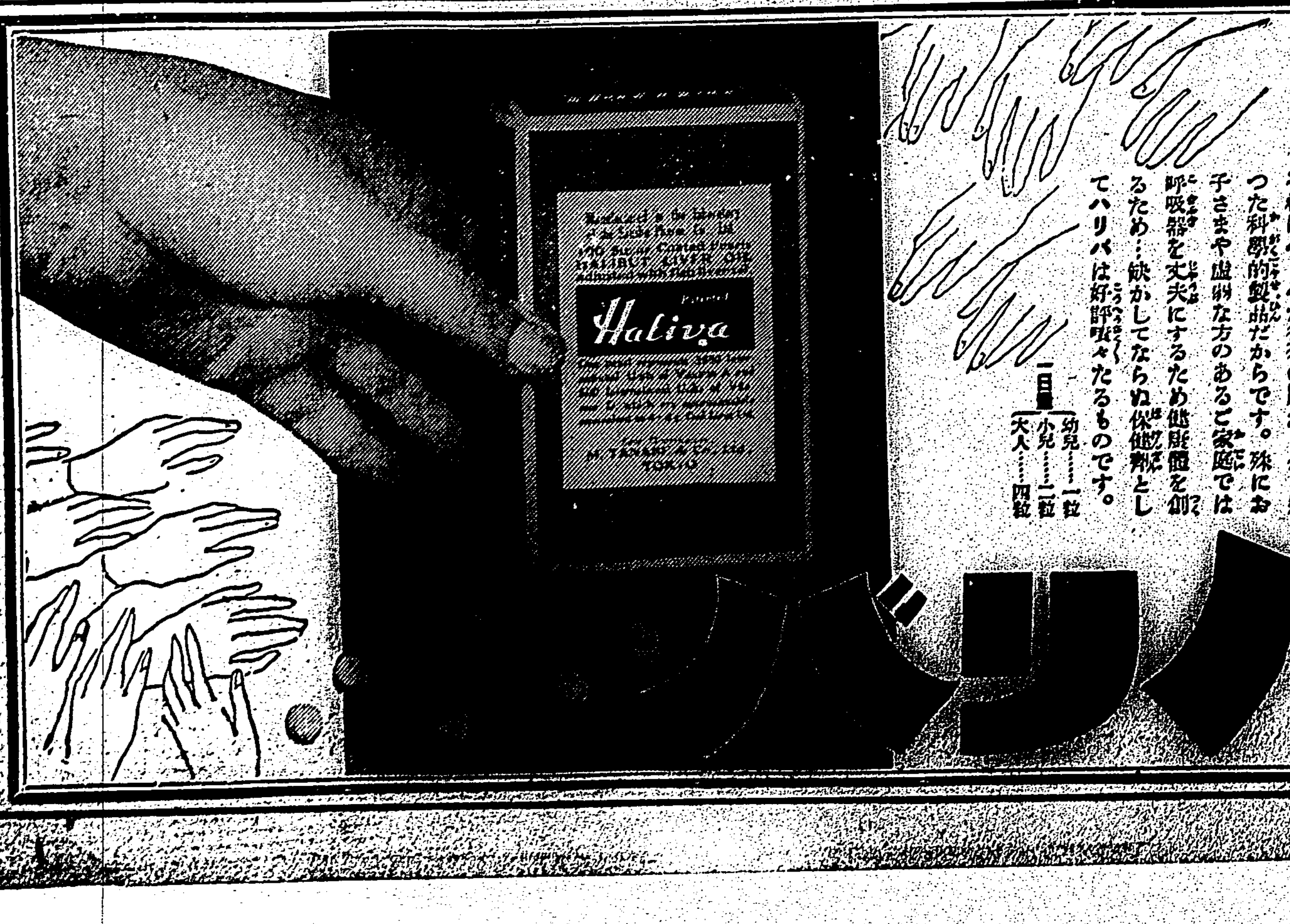
ペンでも文部でも、砲窓でも、お役に立つ程のものは皆が々で御召する。“日本ならでは……”の美しいところ

○

對支院でも出來ようとする際の府外事局の强化だとすると、意味も深長だし、南支南洋方面への視野も強化されねばなるまい

無絃琴

“數字のいたづら”といふ事がある。數字は時々いろ／＼な惡戲をやる。この間の香港電報に、廣東で防空壕を四千キロ突貫したとのニュースがあつた。四千キロといふと約一千里、此所から內地なら何處迄行くか、或は東北辺まで行くかも知れない。幾ら廣東の地下を縱橫に掘りまくつても四千キロの防空壕は作れない。これは正しく四千米突即ち四キロの間違ひである▲爆藥を扱んでる者がその數を間違へて、爲めに一命を失ふ人もある。數のいたづらも此の辺になると最悪である。カネ一〇〇スオクレ……の電文が、二〇〇と書かれて配達され、二百円送金して來た……といふなら嬉しいが、なんと二百円なんて……と相手がプリプリ憤つた爲めに一文も送金して來なかつた……などといふのも數字のいたづらがさせる小悲劇である。おはん長右衛門なんかも見方によつては年齡の相違といふ數のいたづらかも知れない▲非常時經濟の時代となつて、目下は定價賣りに統制されてゐるが、この定價の上にも數字上のいたづらが見られるやうだ。時局に關係ないので別に原價など變つてゐないのに物價局に“便乘”して一緒に手際よく値上げしてゐるのも隨分あるらしい。數字のいたづらにもいろいろ御座います。



夏に一ばん連用者が増える！

海に山に健康を求むる眞の目的は、たゞ單に暑さを避け、安逸を食ると言ふのではなく、この身體鍛錬の好季に大いに抵抗力を培養して、秋から冬への活動期に於ける能率を高めようとする目的に外ならないのではないでせうか！

兒童も、虛弱者も、健康人も…

この外からの鍛錬に加へて內部からは新鮮な魚菜と、充分なヴィタミンADを補給して、秋から冬にかぜ引かぬよう、結核に侵されぬよう、そして長期活動に堪へられるよう、體力を強めるには肝油ハリバの連用が一ばんです。

都會でも、田園でも、夏の榮養劑として、肝油＝ハリバは最も良く用ひられるもの丶一つです

それはハリバが從來の肝油と全く違つた科學的製品だからです。殊にお子さまや虛弱な方のあるご家庭では呼吸器を丈夫にするため健康體を創るため…缺かしてならぬ保健劑としてハリバは好評嘖々たるものです。

一日量 幼兒……一粒 小兒……二粒 大人……四粒

一粒肝油 ハリバ

HV-401

皇太子殿下には御健かに渡らせらる

田母澤御用邸で自然を御友に

【東京二十五日發同盟】皇太子殿下には七月二十日以來日光田母澤御用邸に御避暑遊ばされてゐるが御日課も正しい御生活に御親しみに[illegible]なり自然を御友として御運動に[illegible]せられた結果御體格[illegible]身長と共に著しく御成長遊ばされ御[illegible]も一層御立派に遊ばされ愈々御健かに御成長遊ばしく渡らせられる、殊にこの一ケ月餘の水泳・登山・女峰等の山々に[illegible]拝される[illegible]は一入である

聖戰下の文學動員

大きな波紋を描く

今回の企に對する諸家の意見

【東京二十五日發本社特電】文壇より漢口に行けと内閣情報部が乗出した聖戰下の文學動員は文壇に大きな波紋を描き出して二十四日菊池寛の手許に[illegible]られた文壇[illegible]の[illegible]から[illegible]された[illegible]の[illegible]には二、三の作家が[illegible]外部と參加の[illegible]して[illegible]人員を[illegible]、その人選に[illegible]てゐる有樣である[illegible]

文壇が[illegible]一つの[illegible]組んでペン一本に[illegible]聖戰下の[illegible]と結びつけられた作家達は一[illegible]を考へ何をやらうとしてゐるか[illegible]

菊池寛氏 日支戰爭の[illegible]

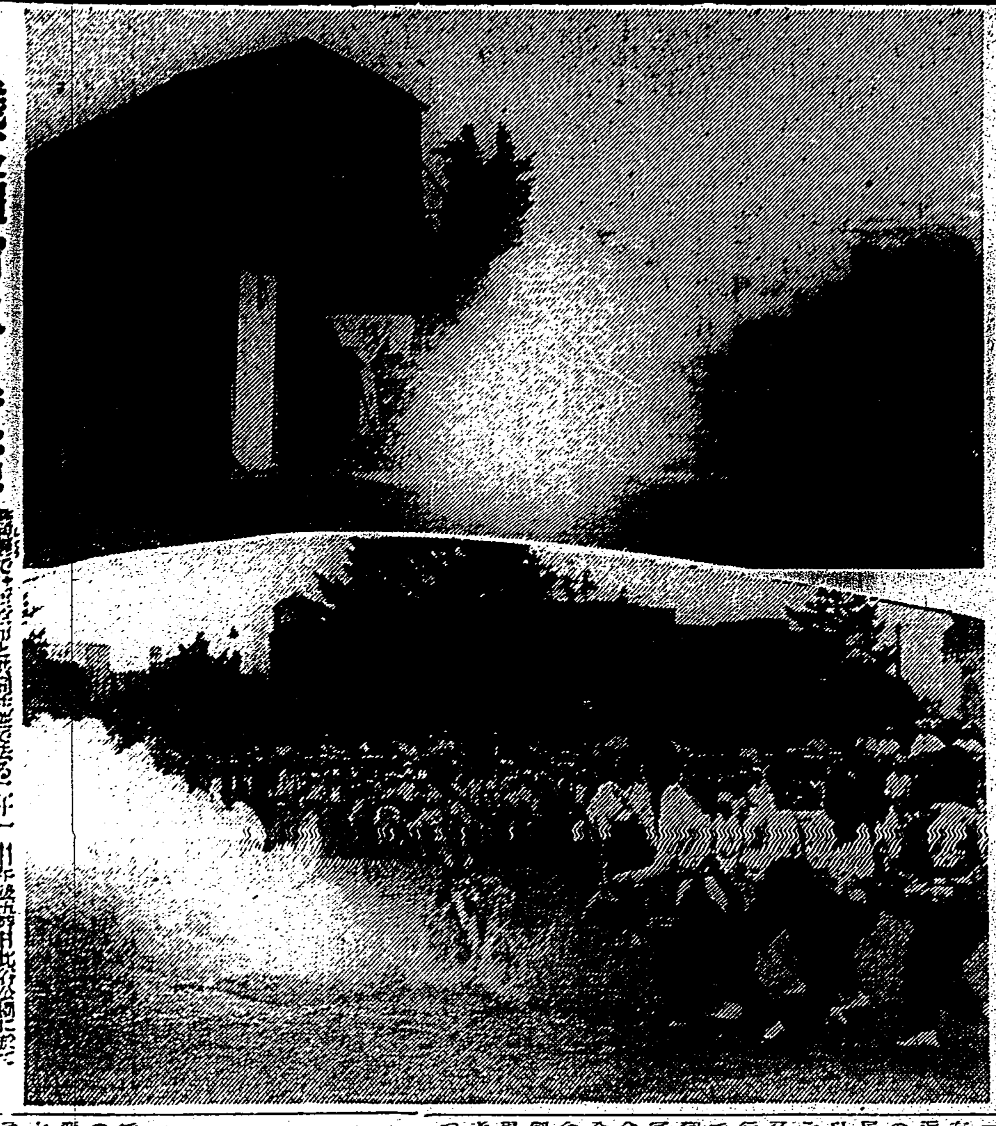
林芙美子女史 [illegible]

菊花大綬章を

ム伊首相に御贈進

ヴエネチア宮で傳達式

【ローマ二十四日發同盟】堀田駐伊大使は二十四日午前十一時ヴエネチア宮にムツソリニ首相を訪問、天皇陛下からムツソリニ首相に御贈進遊ばされた菊花大綬章の傳達式を行つた、ムツソリニ首相は天皇陛下の御仁德に深く感謝、傳達式終了後堀田大使に固き握手を求め謝辭を述べた



燒夷彈消火の實演

[illegible]では[illegible]二十一日午後五時[illegible]公園に於て[illegible]燒夷彈消火及び防毒[illegible]の實演を行つた(寫眞=燒夷彈の發火、[illegible]の婦人消火班の活躍)

海軍省へ佛舍利

妙法寺住職が獻納

支那方面艦隊旗艦に安置

【東京二十五日發同盟】澁谷區[illegible]妙法寺の[illegible]住職は二十四日海軍省を訪れ[illegible]な佛舍利三[illegible]を武運長久を念じて獻納した、この佛舍利は[illegible]してある、感激した山本次官は直ちにこれを支那方面艦隊の旗艦に安置することになつた

大佛、加藤雨氏

ペンの第一陣

先づソ滿國境目差して出發

【鎌倉二十五日發本社特電】大佛次郎、加藤武雄(右)の兩氏は二十四日午後十時十八分鎌倉發で[illegible]二ケ月の旅に上つた、滿洲[illegible]を[illegible]して北滿、北支への[illegible]ソ滿國境の第一陣である、[illegible]

小島政二郎氏 戰爭に付て[illegible]

長谷川伸氏 私は行かない、[illegible]

飛行機墜落の犧牲

今朝までに死亡三十四名!

三、四十名は生命危篤

【東京二十五日發同盟】既報未曾有の大慘事を惹起した羽田空港附近の日本空輸機と日本飛行學校の空中衝突事件につき遞信省航空局からは[illegible]局長、中尾[illegible]課長以下[illegible]に急行、事故の原因調査その他[illegible]に萬全の策を講じ又[illegible]である日本空輸、日本飛行學校でも夫々[illegible]が善後策を協議し[illegible]今回の死亡者は二十五日朝までに判明したのは飛行機[illegible]者が[illegible]名[illegible]者十七名合計三十四名の多數に上つた

本島人幼女が

危い!線路に惡戲

双連驛の附近で二名捕ふ

二十四日夜台北市下奎府町三ノ三四吳氏[illegible]に同林[illegible]方[illegible]何れも[illegible]は雙連驛[illegible]ソリンカー[illegible]七時二十二分同驛發台北驛に向ひ進行中下奎府町三ノ二四附近に差し[illegible]レール上に[illegible]

乘馬を獻納

花蓮港[illegible]田村の西岡光太郎氏は愛用中の乘馬一頭(價格五百圓のもの)を今回軍馬として獻納したので軍司令部に於ては之を所要の部隊に[illegible]

海岸線の復舊工事

好天候に惠まれ進捗

豫定より早く一日から全通

海岸線の開通を九月十日と豫定して[illegible]を急いでゐるが好天候に惠まれて工事大いに進捗し今月一杯で假工事の全部を完成し九月一日から全通することになつた、[illegible]大山[illegible]の山崩れの區間は二十四日午後六時復舊し、二十五日より竹南、後龍間にガソリンカー三往復が開通し、更に新竹[illegible]は二十八日、大甲、甲南間の河[illegible]は三十一日何れも[illegible]工の見込みが立つた、しかし以上は何れも假工事であるから開通後と[illegible]

南署で近く家賃調査

南署では州[illegible]部よりの通牒に基き近く[illegible]

親指山の登山コース開く

[illegible]

不穩の言辭を弄した男

二十九日の拘留

八月十一日午後一時[illegible]で[illegible]大衆の面前に於て[illegible]二十九日の拘留に處せられた

滿洲事變第三次の第一回行賞發表さる

總人員は一萬七百七十六名

【東京二十五日發同盟】[illegible]

△陸軍

刑事の買收を圖る

【花蓮港電話】花蓮港[illegible]

その儘[illegible]

贈賄を[illegible]

概況(二十五日)[illegible]

北部地方　東の[illegible]
中部地方　東の[illegible]
南部地方　北の[illegible]
東部地方　[illegible]

今晩の映圖

◆大世界館　[illegible]

◆國際館　[illegible]

◆新世界館　[illegible]

◆タイゲキ　[illegible]

◆芳乃館　[illegible]

內地へは商船で　商船案內所

元祖　八　の指味噌

人相、骨相、手相　運命判斷　東京木村相學院門人高山相院　鐘文禎　八月廿五日より九月五日迄　日の出旅館

笑の使節來臺!　[illegible]かてほんまはまんざいだつせ、三光會一行が榮座へ參りますよつて、ヘラヘラオホホとお笑ひにお越しやす!

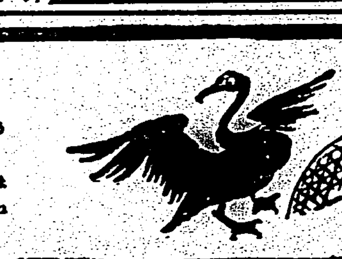
バイオリン尺八　ギター　マンドリン　ハーモニカ　[illegible]

病人の食物　カユ・重湯に　牛乳・手製　テルモ

○夫婦枕　四圓

二大歌手が烈々の氣魄に燃えて絕唱の熱血譜!
業界に革命を起した新原料を使用の同盟第一號盤!
全吾聯撰定

ハート美人
鶏の眞似
姉妹品　シルバーハート　ホワイトハート
御近所の藥店でお購め下さい



ぜん息神經痛や中風・高血壓
血の「濁り」をとり原因から治療せよ
不治でない
血液淨化劑
今津化學研究所

胃腸諸疾患に
食慾增進消化劑
本邦人が日常の食餌は大部分澱粉質なるが故に本邦人に必適すべき消化劑は彼の有名なる強力柏木ヂアスターゼあるのみ
消化機能の回復と促進・結核及び病弱患者の食慾療法に本劑は多種多樣の消化酵素を包含する極めて強力消化新藥にして食慾を增進し總ての胃腸諸疾患に適應す
◆過飮、過食時、運動不足、咀嚼不充分時に於ける消化不良防止の目的を達成す
全國醫科大學病院官公立著名大病院御採用
粉末及び服用至便の錠劑あり
發賣元　株式會社日本藥品洋行
總代理店　株式會社田邊元三郞商店
柏木ヂアスターゼ

月の友香水　五百番
ワスカ一滴數日かをる

コドモのねびえかぜに　オイシン

BELTSUGAN

梅毒性諸病に
内服驅梅藥の必要
治療を誤ると一生惱む
早老や早死も梅毒から

人間天壽は百歳以上

梅毒菌 は第一期第二期と時日が進むと、次第に内部に侵入し、内臓諸器を侵す。そして大抵の人は、この内臓梅毒で、命を奪はれてしまひます。死亡する時は、腦溢血だの腎臓病だのと色々云はれるが、かうした人の病原を調べると、多くは梅毒菌が食ひ荒して腦溢血を起させ、或は腎臓病の原因をなしてゐます。先づ

病名を あげて見ると、第二、第三期にかけ肝臓病、腎臓病、心臓病その他凡ゆる内臓疾患を起すやうになります。それに梅毒は、身體諸汁の内なら何処にでも生活出來るので、乳汁、涙液、唾液、尿の外膣汁、精液等の分泌液に混入して體外に出て來るのですから、之等の排泄物に對しては、充分な注意を要します。人間の

天壽は 百二十歳から百五十歳であると云ふが、之れは既に無病健康體の人のみが望まれるのであつて、最近早老者や虚弱者の多いと云ふのは、梅毒に感染したり、或は親からの遺傳梅毒を気附かずに居る為、血液中に永年梅毒が潜伏し、體内の組織細胞を傷み、體力を衰退せしめる結果自然梅毒患者は、早老ともなれば、早死ともなる訳であります。その他腦脊髄を犯せば、最も恐るべき

痲痺狂 を起し、又一つの吹出物でも、第三期や晩期に出れば、必ず内攻して右に述べる様な内臓梅毒に及び、腎臓病に罹るのですから、日頃の治療が最も大切であります。

醫學界の恩人ベルツ博士

梅毒治療の近道は

梅毒は又早期治療に越した事はありませんが、一旦正しい診断と正しい治療に拠れば、第三期或はその後の重症梅毒でも、決して治らぬと云ふ事はありません。ですから梅毒に悩む人は、信用ある専門家の診察を受けるか、或は驅梅内服藥として有名なベルツ丸を服用する事が、何よりも正しい手當法です。本劑は凡ゆる梅毒疾患に適應した内服藥ですが、特に重症に適し、血液、骨髄液を浄化し、氣持よい便通と共に全身の毒素が體外へ排泄されるので、今迄悩んで居た、吹出物や腫物、便秘、不眠等も自然に忘れ、心身共にサッパリしてまゐります。故に梅毒に悩む方は是非本劑の服用に依り無病な健康體を得られよ。

せきずゐ癆は
惡質の梅毒

脊髄癆 の初期は、中々診断のつかぬもので、数年間は軽い神経痛の様で、時に神経痛が電撃性で脚に來る、そして此の神経痛が数年にも及び苦しむ事がある。又膀胱や直腸の神経痛や障害が起り、歩行が出來なくなり、子供の歩み初めの様に動揺してよろめき遂には膀胱や直腸の障害を起し、大小便をたれ流し

全身的 に運動が出來なくなり、胃の働きが弱くなり、嘔吐を起したり、胃酸過多で消化不良になつたりする。

かくて手足が麻痺し、目が見えなくなり、發狂障害を併ひ、数年或は十数年の病苦の後、悶死する程、全く利がなくなつて、悲惨な末路を遂げるやうになるのであります。然し斯うした梅毒性疾患も、早くにベルツ丸の様な正しい内服藥を服用して居れば、其の心配はありません。

梅毒（ばいどく）と體毒（からだのどく）
便秘と皮膚病に
ベルツ丸
ベルツ博士像　SUZUKI NIPPON-SEIYAKUSHA
（主效）梅毒、胎毒、痔疾、横ね、しつ疾、ひえ疾、せきずゐ癆、腦梅毒、淋疾梅毒、リウマチス、頑癬の皮膚病、ニキビ、動脈硬化症、便秘症
（藥價）二十日分三圓　三十五日分五圓　七十五日分十圓　百六十日分（家庭用）二十圓　二百六十日分（家庭用）三十圓　送料内地各十五錢
本舗　東京市日本橋區濱町三丁目　鈴木日本製藥社　社主　鈴木清二
振替東京百五番・電話茅場八十番・九十番
（全國有名藥店デパート藥品部にあり）

一日の汗や疲れを
ミツワで洗ひ流す
入浴こそ夏の天國

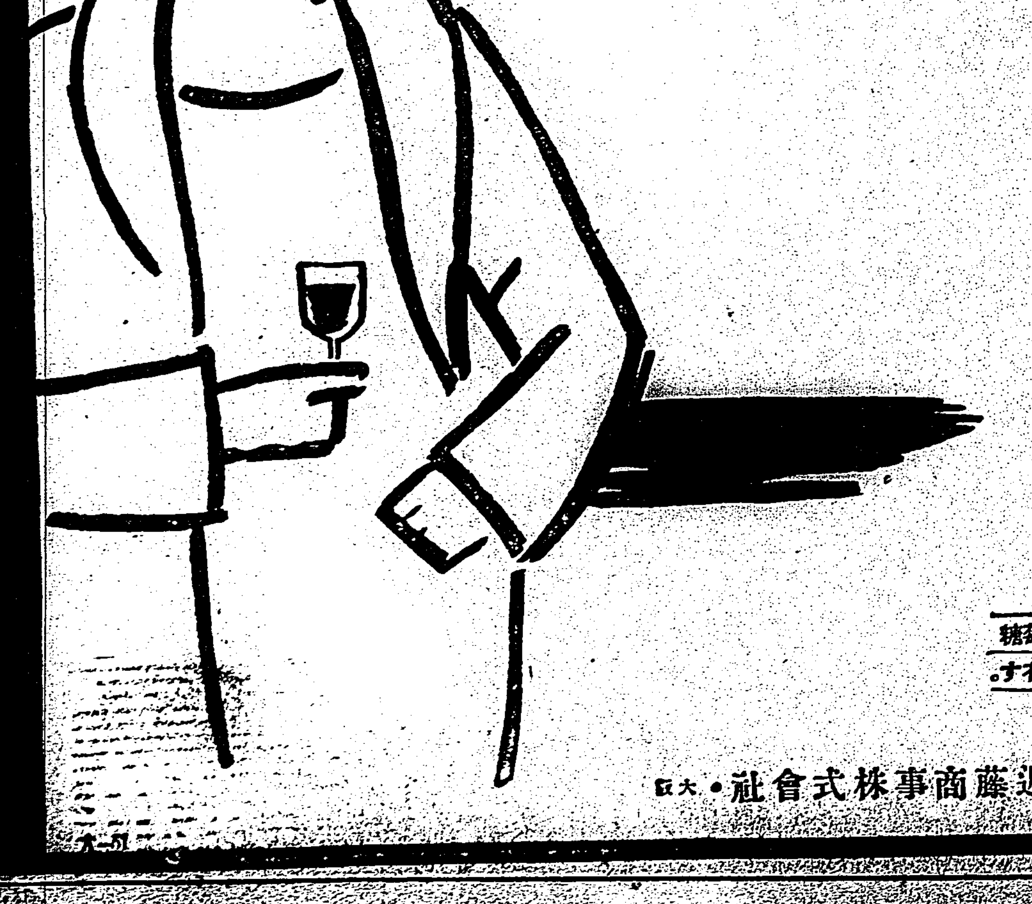
ミツワの入浴
涼味滿喫

消費節約の折から
溶解度が理想的で
無駄のない本品を

ミツワ石鹸

本舗　東京日本橋區　丸見屋商店

美味滋養・疲勞恢復
蜂ブドー酒

五體を強化する
美味しい一杯！
これは素晴しい健康の源泉！美味しく飲む、からだ全體に榮養がまはる、體力が充實する、病氣に對應する抵抗力がグン／＼とつく！慰安飲料に用ひて實に美味しいばかりでなく、藥物以上の効力があるから素敵です！適度の運動もさる事ながらお弱い方は常に蜂ブドー酒を備へて、健康のために毎食前一杯づつ御愛飲ください！

●主成分　榮養學上その偉効を確認せらるゝ葡萄糖・果糖・鐵分其他滋強素を豐富に含有す。
東京・近藤商事株式會社・大阪

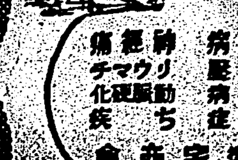
いんきんたむしに
ハウト
伊勢四日市市　加藤翠松堂

ホシマラリヤ丸
ホシ胃腸藥マラリア丸はキニーネ劑でありません。キニーネはマラリア病の特效藥でありますが、ホシ胃腸藥マラリア丸は早く血液中のマラリア原蟲を撲滅し熱を排除するばかりでなくマラリア病に伴ふ肥大せる脾臓を縮少しマラリア病を永久に治癒せしむる特效藥であります。
マラリア流行地に其豫防に本劑を一日一回五粒宛服用して居れば罹病の恐れはありません。
主治　效能（マラリア熱、間歇熱（瘧）解熱
東京西大崎　星製藥株式會社
臺北大和町　星製藥株式會社臺灣出張所

腐敗せぬ育児料

育児体操を始めましやう
一生の健康の基礎を造る乳児時代こそ、積極的に「育児体操」が必要なのです。それが一般に夜具で包んで、不活潑にさせてをくなんて赤ちやんこそ迷惑です。赤ちやんに育児体操が？　それは大人の考へで、裸にして風呂に入れたり、オムツをかへる時、自由に手、足を動かして喜こぶのを見ても「育児体操」の良い事が解るでしやう。現に大阪の某乳児院では盛んにやつてたられますが、冬でも風邪一つ引かず丸々肥つて行くさうです。
聖戦下の今日全日本の赤ちやんに強くなつて戴きたいのが多年育児に關係する我が社の念願です。早速御初めなさい。今からが一番よい季節です。御希望の方へは一目で解る美しい額面用「育児体操」（生後六ケ月―三年迄）の図解表を御送り致します。
但し右下のクーポンを切り抜きラクトーゲン本舗へ……
こなおち、
ラクトーゲン
全國有名百貨店、食料品店、藥局、藥店にあり
乾卯食料品株式會社新藥部
大阪市東區伏見町二　東京市日本橋區本町二
育児体操図解表
進呈券
切取線

●頭痛にノーシンさえあれば苦痛も提灯もないね●

夏の行水に殊によろし
六〇ハップ
あせも、たゞれは二〇一浴で効く！
ドノ御家庭にも御愛用の家庭の温泉

皮膚病　高血壓　婦人病　不眠症
神經痛　リウマチ　動脈硬化　ぢ疾
合資會社　宅商會
台北・台南・高雄

江戸桃花陣 (123)

(其の四) 海音寺潮五郎作 富永謙太郎畫

金亡者 (三)

「訳があるんだ。こつちへ来てくんな」

和尚の坐つてゐる縁側を出た三五郎は傳吉を引つ張つて座に向いた座敷まで出て来た。

「何の話だい。ゆうべのことで叱るんぢやあるめえな」

「それぢやねえ。済んだことだ。いくら怒つてみたつてしかたはねえ。まあ聞きな」

久しぶりの雨の晴間をやかましく蛙の鳴いてゐる縁側にしやがむやうに坐つてのことである。

「話つてのは……河川やつのことだ」

「……」

「どうしたもんだらうな。早く何とかかたをつけてしまはねえことには気がかりでならねえ。実のところ、傳了今日は、和尚さんがやられたつて報せを受取るまでは、…」

三五郎は黙つた。

傳吉は叱れて見ると、それもさうだと思ふのである。勿論、傳吉はさうなることを豫想して、十分の用心を怠つてゐない。…しまつたのもそのためだし、用人にも…によつて、顔を外にさらさないやうにしてゐるし、その…も、十分に信用の出来る筋のもの以外は使はないことにしてゐるのであるが、たつた一度でも…の子分に顔を見られるやうなことがあつたら、それまでである。

「ねえ、兄貴さうだらう」

傳吉は三五郎の方へこんだ顔をのぞきこむやうにして言ふ。

「とにかく、二度、河川に行つてみようぢやねえか」

「行つたところで……」

「まあ、来なつてことよ。行つてゐるうちにや何とかいい、智恵が出ねえものでもねえ」

二人は、…して、現在和尚の…になつてゐる…に入つた。この部屋は、かつて…が、この寺を訪ねた時、…室である。

「そいつをとつくり相談しようといふつもりでゐたんだが……」

「……」

「何とかいい工夫はねえかの。和尚さんがあの有様になつてみると俺あ心細くなつちやつてるんだ」

「兄貴もさうかい」

…の色を浮かべて、傳吉は低い声で。

「俺らも心細いんだ。…に知れはしねえかと思つて我慢してゐたんだが、実を言ふと、…町の…が乗り出したといふことを聞いた時から、…玉が…くなつてゐるんだが、ゆうべのしくじりからこつち、我慢出来ねえくれえ恐ろしくなつちまつた」

「いや、…町の方は大丈夫だ。…ことアねえ。…がどんな腕っこきでも、どんなに…を持つてみようと、此寺に縁のつくことなんぞありつこれえ」

三五郎はから言つたが、傳吉は容易かなかつた。

「勿論、最初から此寺に気づきはしれえだらうが、あれほどの男だ、どう手を廻して、…の仕業だつてことを嗅ぎ出されえものでもねえ。…の中の人でも、嗅ぎ出されたら、そこから手ぐつて、此寺に目をつけれえものでもねえぜ」

英佛獨ソ聯各國で文化映畫を重視
日本でも價値が認識さる

最近文化映畫の映畫界に於ける…が…され、その社會的役割…なり、價値が認識される…なつて來た。先頃、國際文化…國際映畫…(ヴェニス)に出品する作品を選定したところ、…殆んど落ちて、入選…のは劇映畫でたつた一本「五人の斥候兵」と「風の中の子供」だけであつたが、他の二本「日本の小学校生活」(…)「東京シンフォニー」(…)はすべて文化映畫である。今日、日本映畫は…出されるが、その…ニュース映畫と文化映畫である。今年の一月から四月までに一〇九六本の…文化映畫が輸出されたドイツなどでも、…のはやはり…ドイツの文化がどんなに…いふ…「ドイツ、オリンピツク」…の…

フランスの政府は文化映畫を作つたり利用したりしてゐる點では…ドイツに劣らない。…

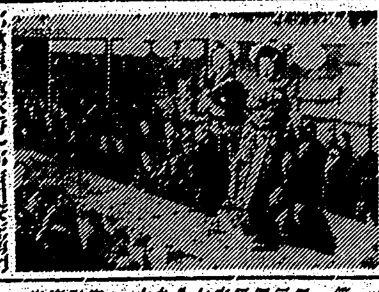
しかし、記録映畫や文化映畫の…イギリスは…

[illegible]

『瞼の母』を上映
廿六日から大世界館

長谷川伸の原作を…映畫化…

歌吉行燈
廿五日から 芳乃館



川口松太郎の原作を…

カナ文字ニュース

△二十三日 瑞昌市内ヲ 見下ス 八字山ノ 高地ヲ センキヨ シタ 石本部隊ト トモニ 平田部隊ハ 二十四日 アサカラ 瑞昌縣城ヲ コウゲキ 午後五時 平田部隊ノ 原田部隊ガ 東門ヲ ヤブツテ 城内ニ トツ入 城壁ニ 日章旗ヲ カカゲ 他ノ部隊モ ゾクゾク入城 シマシタ

△ワガ海軍航空隊ハ 二十四日モ 前日ニ ヒキツヅキ 中支方面デハ 株州ノ 軍需工場地帯ヲ バクゲキ 南支方面デハ 廣九鐵路ヤ 粤漢鐵路ノ 各驛ヲ バクゲキ シテ ソンガイヲ アタヘマシタ

ヌガホン塔

▲下駄の…に…して下駄を…する…(…)▲水道…(…)▲…

[illegible]

商況 (廿五日)

臺北米市場前場

[illegible]

蓬萊在來米

[illegible]

高雄在來米

[illegible]

大阪期米前場

[illegible]

東京期米前場

[illegible]

神戸期米前場

[illegible]

東京銘柄前場

[illegible]

大阪銘柄前場

[illegible]

東京銀行實株

[illegible]

東京國債實物前場

[illegible]

東京短期前場

[illegible]

東短取組喰合

[illegible]

同 兩建総額

[illegible]

東京長期前場

[illegible]

東長總取組

[illegible]

大阪短期前場

[illegible]

大阪長期前場

[illegible]

大阪砂糖前場

[illegible]

大阪砂糖現物

[illegible]

神戸豆粕前場

[illegible]

大阪綿絲前場

[illegible]

大阪棉花前場

[illegible]

大阪人絹前場

[illegible]

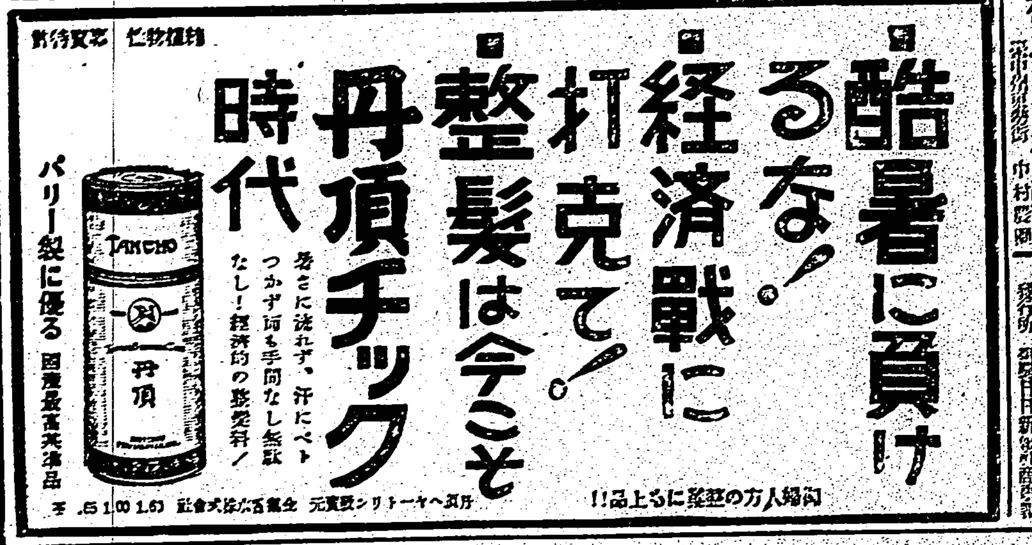
横濱生絲前場

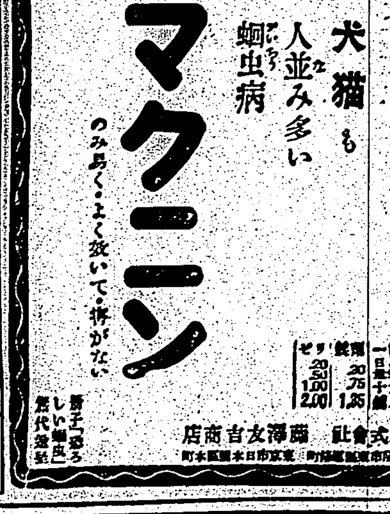
[illegible]

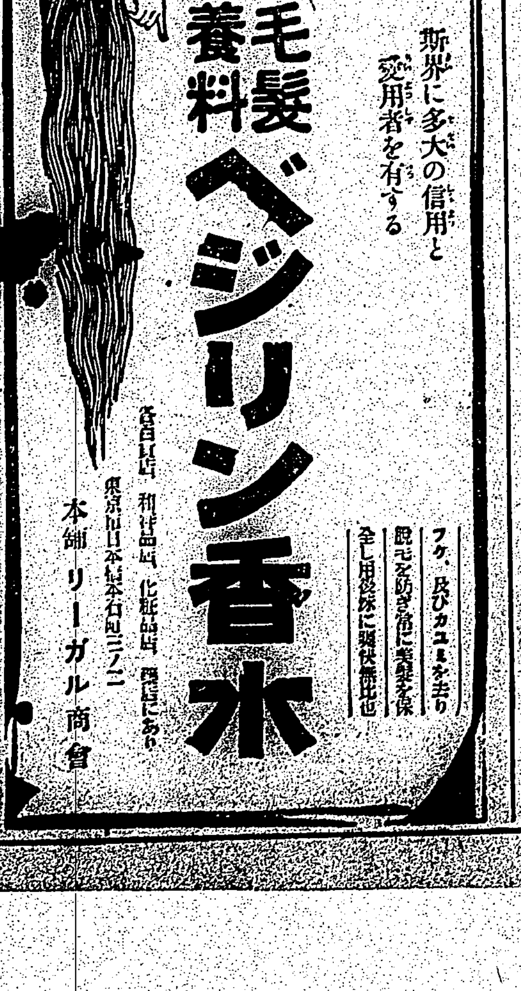
臺日案内

書籍 支那大地圖 …
醫院 小林醫院 …
内地土産 パインアップル …
樂器 河合小型ピアノ …
寫眞 カメラ中古品高價買入 …
時計眼鏡 和田はメガネ專門 / メガネ專門日光堂 …
料理屋 仕出し 辨金本家 …
金融 電話商品券 …
藥種商 喘息ニワンカ …
雑件 洋服タンス / 特許商標 岸喜鑑 / 百湯撰 / 石綿煙筒 / 玄米精乳・牛乳 / 秋のタネ / 桐・デリス苗販賣 …

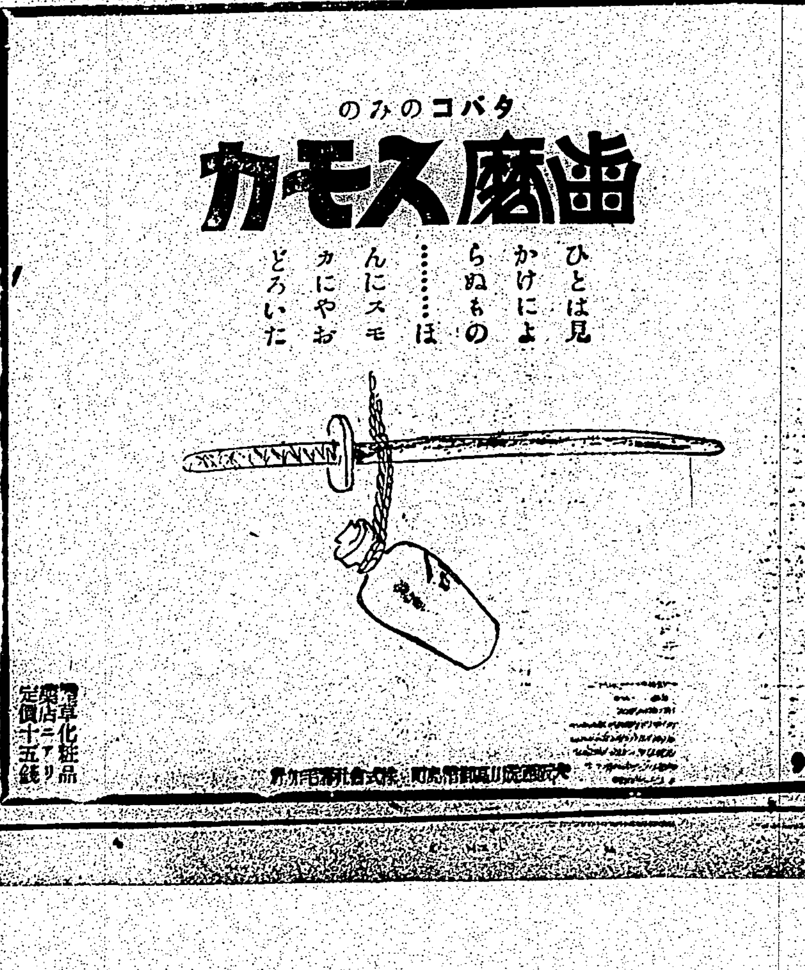
臺灣六法







●ノーシンをのんだ頭の軽い朝●



臺灣日日新報
本日夕刊共十二頁

社説

國府と人民戰線化の傾向
孫科の政界入は警戒を要す

一

國民政府または府政務が、次第に人民戰線派的色彩を濃化して行きつゝあることは、帝國としても特別なる注意と關心とを要するところである。

二

最近の消息によると、

三

米管案の急速な實現を希望する
府評議會員滿場一致で決議

決議

一、長期戰下の非常時局に鑑み聖戰に於ける我が偉大なる將兵の勞苦を思ひ…

二、米穀管理案は本島產業の健全なる發展に資し且つ帝國全體經濟に寄與する處甚大なるべきを思ひ速に是が實現を期せられんことを要望す

森岡長官の挨拶(上)
府評議會員懇談會で

二十五日の總督府評議會員懇談會の席上、小林總督の告辭に續いて大要左の如き挨拶をなした

我が江北進攻隊
隨所に敵を擊破

漢口防備の爲に南下
洛陽、鄭州一帶の雜軍

國土計畫法(假稱)を制定
大都市の膨脹を抑制

獨、伊、洪三國の友好關係を謳歌
ホ提督歡迎晚餐會で

伯林の防共委員會近く正式に成立
東京にも同樣設置

廬山の敗殘兵を附近良民が掃蕩
抗共維新隊を組織

瑞昌攻略に協力
海軍航空隊が活躍

官亭を占領
六安街道を西進

敵の遺棄死體五百餘

奏任級異動
きのふ發令さる

榮進者略歷

東日本警察部長會議

人事

廣九鐵道の開通は早くて一週間後

佛國は否定
海南島永久租借說

早稻田大學の講義錄

秋季新學年 校外生募集

全國一千萬の勤勞靑年の爲め、來る十月、各講義錄とも一齊に秋季新學年を開始する。

躍進日本の國民として、あらゆる部門にわたり、銃後の護りを一層强固に保つ爲め、少くとも中學程度の知識は、何人も持たねばならぬ今日、小學校を出たゞけの諸君は、今秋こそ是非とも早稻田の講義錄につき、確つかり勉强して頂きたい。

年齡、學歷に制限なく、どの講義錄にても申込自由。

希望者は先づ內容見本により詳細を知られたし。

中學講義

高等女學講義

商業講義

電氣工學豫備講義

專門學校程度

政治經濟講義	法律講義	文學講義	建築講義	電氣工學講義

內容見本

見本は必ず望みの講義錄を書いてハガキで申込むこと

東京・牛込
早稻田大學出版部

臺灣に於ける勞務對策座談會（六）
臺北公會堂に於て　本社主催

◇三巻氏 [illegible]

◇三毛氏（臣長）[illegible]

◇江花靜氏 [illegible]

東部電源開發に對し督府の方針轉換か
個々の自家發電を許さず
西部同樣一社に統一？

中央山脈をもつて兩分される臺灣の東部に於ける [illegible] 工事を施行せんとするもの、或は東部電力會社を結成して需要者に供給せんとするもの等續々として內地から押しかけ總督府當局の施設を求むることになつたここに於て總督府當局では最初の方針通り個々の自家發電許可主義では結局優秀なる國家資源を甚しく損する恐れがあるので、むしろ此際最初から統制會社を結成して最も合理的な電力開發を實施することこそ必要であるとの意向を持つに至り、最近ではこの見地のもとに研究を進めることになつた模樣である、從つて恐らく近き將來、前記企業者の共同出資により東臺灣電力會社なるものが成立されるのではないかとの見方が有力となりつつある

電源處女地　東臺灣の魅力
各地から發電出願續出

東臺灣の未開發資源を目指して諸工業計畫が續々と目論まれ、花蓮港に呼びつけられつつあるのは現今の著しい現象である [illegible]

硫安四大會社　農相に陳情
石炭價格引下に關して

【東京二十五日發同盟】[illegible]

滿洲大豆の對獨輸出高

【新京二十五日發同盟】[illegible]

華南銀行　總會終る

[illegible]

資本金三千萬圓で臺灣にパルプ造林會社
將來は一億圓迄增資の豫定で
府山林課が創立斡旋中

本島は [illegible]

臺拓の子會社　星規那產業創立
星氏の事業を繼承

[illegible]

パルプ座談會　きのふ終る

[illegible]

臺中州のレモン獎勵
移出品は好値

【臺中電話】[illegible]

蓬萊移出累計　四百五萬餘袋
產地殘存百六十萬袋

[illegible]

內外商況欄（廿五日）
突込み警戒と　朝鮮筋買に引締る

米期

堂島米況前場 [illegible]

堂島米況後場 [illegible]

外貨資金集中に外銀からも協調
各方面に好感を與ふ

【東京二十五日發同盟】[illegible]

新竹商工會所議員　三十二號井を視察 [illegible]

日本輸出用達會社創立案

【大阪二十五日發同盟】[illegible]

日鐵社債發行決定

【東京二十四日發同盟】[illegible]

底入觀濃厚　蓬萊は立直る

[illegible]

堂島雜觀

[illegible]

株式
月末接近と共に　時機待ち浮動商狀

兜町前場況 [illegible]

砂糖
實需買に分蜜堅り

大阪砂糖清算後場 [illegible]

大阪砂糖現物 [illegible]

米界餘聞

[illegible]

島內商況
正米市　內地颱風懸念に急反騰

[illegible]

相場表（數値判讀不能）

東京短期後場 [illegible]

東京長期後場 [illegible]

大阪短期後場 [illegible]

大阪長期後場 [illegible]

東京短日步 [illegible]

大阪期米後場 [illegible]

東京期米後場 [illegible]

神戶期米後場 [illegible]

大阪重要商品 [illegible]

絲況：大阪綿絲後場、大阪棉花後場、大阪人絹後場、橫濱生絲後場 [illegible]

肥料：神戶豆粕後場、大連特產後場 [illegible]

臺米公定相場 [illegible]

臺中米價（二十五日）[illegible]

臺灣正米市場後場 [illegible]

臺米現物相場 [illegible]

肥料雜穀相場 [illegible]

臺北籾相場 [illegible]

財界株界

[illegible]

東西南北

[illegible]

商業登記公告

[illegible]

第三十九期決算公告 [illegible]

株式會社 華南銀行 [illegible]

公賣公告 [illegible]

會席御料理　竹巴　御宴會特に勉强

大阪商船 [illegible]

近海郵船 [illegible]

辰馬汽船 [illegible]

大連汽船 [illegible]

丸一組 [illegible]

防空資材御整備ハ先ヅ　竹腰商店ヘ御用命ヲ

內科　小兒科　呼吸器病　台北市末廣町　淺井病院　入院隨意　電二四〇三番

銘酒　楓白鹿

讀書

書物放浪（七三）
二つの日記
西川滿

東西古今を通じておよそ作品を理解せんがためには、その作家の日記を讀むに如くはない。殊に作家が思索的に、情操的にすぐれた人である場合、その日記は、讀者をして作家その人を知らしむるばかりでなく、作家と交遊せる人、作家の背景をなす時代の動きをも示すであらう。

この意味で、すぐれた日記は凡百の文藝書、思想書に勝ること數等である。最近飜譯出されたものでは『ヴィニイの日記』と『ルナアルの日記』の二つが傑出してゐる。●

アルフレッド・ドウ・ヴィニイは（佛蘭西浪漫派全盛期における嘔一級の哲學的詩人）で、その日記は、（宗教、哲學、藝術、政治、さては家庭、戀愛、友情等人事百般の問題）にわたつて居り、實に興味盡きざるものがある。私は學生時代、この日記の譯者小林龍雄先生から、高踏派の敍事詩でヴィニイの詩を講義していただいたことがあるが、日記に關してはついぞお話をうけたまはる機會を失しただけに、この飜譯を手にして突に意外の嬉しさを覺えた。文學の虛無について、政治について、心について、印刷について、英國人について、信仰について、偶然について、折衷主義について、さては狂氣について、光榮について、……ところかまはず閃く頁に現はれる偶らざるヴィニイの思想の面白さ。それは丁度（パスカルの『感想録』でも）繙くやうな思ひである。

航海。——一艘の立派な船が旅日ブレスト（佛の軍港）を出發した。船長は一人の船客と話し合つた。機才に充ちた船長は彼に向つて言つた『私はこれまであなた程好きな人に逢つたことはありません』と。

彼等はタイチ（大西洋中にある佛領の群島）の海に到着する。赤道の上。船客は彼に言つた。『あなたが其處に持つていらつしやるのは何ですか？』『私が此處に着いた時に開封するやうに命ぜられてゐる手紙です。私はその通りに實行しなければなりません』彼は大尉に銃殺に彈丸をこめることを命じて、蒼白になる。『撃て！』彼はその船客を銃殺せしめる。

ちよつとリイラダンのコントを思はせるこの日記の一節は、後に『ローレット又は赤い封印』と題せる小説の胚になつたものださうであるが、ここに（燃え上る内心の情熱を奇徹なる理智の力をもつて抑へつけ、冷徹的形式を藉りて羽時の偉岸なる厭世思想を表現）したヴィニイを見ることが出來るではないか。

また母の死に直面して悲しみの中に、死の少し前の日の思ひ出をつづつた次の一節は、純情な詩人の魂が、實に美しくにじみ出てゐる。

ヴィニイの肖像

今月九日の十四日に、私は何時もの習慣に從つて私の寢床を母の部屋へ運ばせた。母は笑ひながら、兩足を軸掛に載せ、愛用の安樂椅子に腰掛けて、如何にも幸福さうな樣子で私を眺めてゐた。彼女は古い節廻しを探しながら、次のやうな詩を歌ひ出し、四度もそれを繰り返した。私は眼に涙を浮べながらそれを書き取つておいた。

淋しき野中の一つ家に
一人の母ぞ住みゐたる。
そは英國のことにして、
假垢と云ふ和ぞ居されぬ。
母が唯一のわざごとは
娘をここちに殘しおき、
次で死に行くことなりき。

『お母さん、それは一體誰が作つたのですか？』と私は母に訊ねた。『ジャン・ジャックの時ですよ』と母は答へた。『娘をここちに殘しおき、次で死に行くことなりき——つて言ふのよ。』私は涙がはふり落ちるのを感じて、逃げ出して了つた。

またヴィニイは書いてゐる（私が敢て創作の筆を執るのには——總ゆる感の幸福、——謂へば女の腕に抱かれて陶然とする肉體的な興奮より遙かに優る興奮が、私の内心には感ぜられるのだ。魂の悦樂は更に長い……。内心の作物は肉體的な作物よりも優つてゐる）と。

ここに、（『象牙の塔』の中に立籠つて孤高な瞑想生活に沒頭した）詩人のよろこびがまともに感ぜられる。（**詩人の日記**・小林龍雄譯　四六判佛蘭西装三〇〇頁、一・三〇、白水社）●

岸田國士氏の『ルナアル日記』については、既に過去兩年間、人人の話題に上つてゐたものだ。今更讚評をつらねる必要は感ぜられぬが、然しここに第七冊が上梓されて、待望の全七卷が完成されたことは、讀書界のために祝福をあげねばならない。

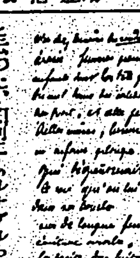
この日記は三、四、五、六、七の一、二と云ふ順序で譯されたので、第七冊目のこの卷は、實は第二卷に相當する。即ち一八九四年の一月一日から九六年の十二月三十日までの日記が綴つてある。

一月十八日　彼女の尻は、まるで辻馬車がレエルの間に挾りこんだやうに、左右に揺れた。

※涙の虹色の微笑

※顏にさす赤み、まさに流れ出さうとする涙の暗い色。

※劇場時部を好くマンデス——まるで兜をかぶつてゐるやうだと云つた、如何にもルナアルらしい筆。さては



ルナアルの日記筆蹟

九月二十二日

※私が好んで聽くのは、蓄音家風な、小さなものだけだ。然し私は、古典の正確を主とした本や、戲曲や、批評には手を出さうとしない。小說は私をうんざりさせ、詩は私を疲勞させる。

※私の少年時代を材料として私の家庭を組み立ててみること

と云ふやうなルナアルを理解するに便宜な資料も、またアルフォンス・ドオデのルナアル作品評や、トリスタン・ベルナアルと一緒に畫家ロオトレックを訪ね、二人の郷のモデルを見て、氣まりの惡い思ひをしたり、等々。

あたたかなルナアルその人の肌にふれる思ひの文章である。傍によつてフールス判の氣持よい組と形。別册の索引も完備してゐる。（**ルナアル日記**・岸田國士譯　伊樂西營三六頁、一・八〇、東京市神田區小川町三ノ八白水社）

私の昆蟲記
林芙美子氏の近著に關して
赤松孝彥

この前、風邪が原因で中耳炎になり、兩方共鼓膜を切開した。枕元の眼覺時計の音も聞えなかつた時、氷で冷しながら思つたことは故郷のことである。美しい瀬戸内海——幼少の頃をずつと育んでくれた故郷を私は懐かしんだ。故郷を遠く離れてゐるだけに獨り目の部屋に床に臥してみれば、その氣持も一層強いわけだ。

かうした時に故郷のことを書いた本でもあればどんなに慰められたか知れない。たとへ故郷のことを書いたものでなくとも瀬戸内海の事を書いたものであれば、それでもよいと考へて、少し快くなつてから私は本屋に出かけて行つた。いつも行きつけの本屋なので店の中に並べられてある本は大抵知つてゐる。

その日は丁度新刊が入つたと見えて、荷物を解いて、中から色々な本を店員達が出してゐた。その時ふと目についたものは『私の昆蟲記』といふ新刊書である。初めのうちは新手の昆蟲學者の著書位に考へてゐたのであるが、眞白い表紙に、子供達が列を作つて並んで走つてゐる黒い影繪がパラピン紙を透して見えた。私はこの装幀からして、どうして昆蟲學者のものではないと思つて、手に取つて開いてみたら林芙美子としてあつた。さては自慢の本だなアと直感した。目次を見て、『故郷の家』『テーブル』『スピチチ』等を一寸讀んでみたら尾道のことが書いてあつたので、私はうれしかつた。何だか胸の狭ぐやうな、そんなうれしさだつた。

○　○

尾道は帯のやうに細長い商港市で、私の故郷とは海上四里位しか離れてゐない。だから發動船で三十分もすれば達する。故郷の中學生や女學生は殆ど發動船で尾道の學校に通つてゐる。從つて尾道と云へば、私には故郷と同樣に懐かしいのだ。そこには伊東深水氏も志賀直哉氏も住んでゐた。その尾道の町で育ち、尾道の女學校を卒へた林芙美子氏のことを、私は今だに芙美姉ちやんと呼んでゐる。芙美姉ちやんは、私の姉よりは二三學年下であつたやうに思ふ。少年の頃、私はよく姉の學校の會誌を讀んだ。その會誌から私は林芙美子と云ふ姓名を非常に強く覺えつけてゐた。そして芙美姉ちやんが女學校を卒業して東京に出てから、會誌に書いてゐた一文を讀んで、林芙美子つて云ふ人は偉いなアと私は姉に云つたものです。それから何年か經た後の或る時、林芙美子と云ふ名前を見出した時の私のよろこび、一體何か書いてあるかも知れないで、その部屋を待つて姉の部屋に飛込んで行つた當時の姿を、私は想ひ起すのだ。なつかしい限りである。しかしその間に芙美姉ちやんのものは讀んでゐない。何だか濟まない氣がする。

○　○

氷で耳を冷しながら私は一氣に讀み終へた。文章は流麗とは決して思はないが率直である。そして何となく廣いのびのびしたものが感じられる。せせつこましい町でなくて廣い町、けばけばしい粉飾のない素顏の笑、と云つたやうな自然の笑、自然の匂さが感じられる。そしてそこには優しい感情がある。野に咲いた一輪の花の香りが、そこはかとなく匂ひくる。私は本を胸に抱いて、再び少年らしいなつかしさで芙美姉ちやん——と呼んだ。

今も私は小さい地球儀を見てゐますけれど、私は、円い地球の上に色々な町々や、さうして廣い平野や、川や、山や、港や、海やあることを愉しくおもふのです。今年の夏休は北海道行きを考へてゐます。佛蘭西の田舎にあるシャモニイと云ふ美しい山國の町の姿が、北海道に行くと到る處にあります。美しい山々、美しい湖、ほんたうに旅行位、私達にとつて廣いのびのびとした學校は他にないとおもひます。私は淋しくなるとひとりで地球儀を出して眺めてゐます。地球儀は私の學校です。昆蟲のあるかぎり、私は旅をしたいと思ひます。夢想だもしなかつた樣な風景が、私の眼に心に素晴な花を咲かせてくれます——芙美姉ちやんは私にかう云つてきかせるのだ。私も旅行は好きだ。殊の中に一杯つまつた所々方々の案内書を開いては旅の愉しさを瞑想する。明るい空、碧い海、綠の椰子林の南洋に行きたいと思つてゐる。出來ることなら一緒に——

私は自然の子である。自然の子であるが故に自然をこよなく愛する。しかし芙美姉ちやんは私以上に旅をしてゐる。それに依つて出來たのがこの『私の昆蟲記』である。

まるで昆蟲のやうに小さい隨筆ばかりです。この隨筆集は、私の日記帳のやうなもので、東京の思ひ出をはじめ、色々な旅の日記をまとめてみました——とあとがきに記してある。

從軍記者として戰地に行つた時のものや其の他のものを集めて三七篇、二三三頁の目次の隨筆集である。（一、一〇東京市……改造社）

改造　九月號　特價一圓（送料四錢）　東京市芝區新橋七丁目　振替東京八四〇二番　改造社

統制と社會倫理・杉村廣藏
社會政策と統制經濟・大河內一男
日本政治の現段階・戶澤鐵彥
漢口攻略戰の諸情勢・山本實彥
重光葵論・長谷川進一
宇垣外交論・清澤洌
政治評論の貧困・黑田覺
日本へ告ぐるの書…平尾則人
日支戰爭の將來…天嘯生
父子道・前田河廣一郎
波止場の見える窓・北林透馬
銀座・內田誠
阪神水害記・藤澤桓夫
爽涼漁趣・佐藤垢石
上海漫語・內山完造
集團勤勞作業を觀る・關口泰
大陸產金地理學・佐藤弘
公と私の問題…清水幾太郎
髭のブヂョンヌイ・三島康夫
ウオロシーロフの素描・ア・アナーニエフ
コミンテルンの裸像・尾瀨敬止
中國共產黨の危機・安藤英夫
關東軍・朝鮮軍・菅原節雄
滿洲國に於ける自動車問題・隈部一雄
支那事變解決の指標　梨木祐平
帝國大學改革問題
◇大學人事について　今井登志喜
◇大學の存在理由と當局　杉森孝次郎
◇教授會の意義　加田哲二
◇改革案の根據　佐多正雄
六號批評　科學 石原純　映畫 岩崎昶　風俗　演劇 三好十郎
書壇越境……編
戰時下美術統制……柳亮
現代演劇の展望……菅原卓
ソ聯の審判
背教者スターリン・原勝
ソ聯と國際勞働戰線…具島兼三郎
極東ソ聯の資源…直井武夫
三國々境地誌…新羅二郎
ソ聯外交の基本的考察…園部四郎
スターリンへの公開狀・馬場恒吾
空點房十年・出隆
莫哀山莊閑話・尾崎行雄
讀書漫筆・河合榮治郎
文藝雜感・正宗白鳥
支那文學中最も愛すべき女性・佐藤春夫
小說 鷗・伊藤永之介
小說 臺灣海峽・草野心平
小說 野薔薇・中里恒子
戲曲 島・川口一郎
大陸都市通信　大連・北京・上海
財界聽音

婦人倶樂部九月號大好評の第一別册附錄
古毛糸の再生法と實用編物
秋の國策に合つた附錄で日本中大評判
此の際毛糸は是非再生して用ひませう
編物日本一の婦人倶樂部が、特別の大苦心をして遂に完成！之こそ實用經濟、一家必備の非常時大附錄と大評判！

國民精神總動員　不用品二度のつとめも工夫から
古毛糸の再生法　古毛糸が、新品同樣に生れ變る再生法の新發表！どうぞ之でお家の古毛糸を再生させ、型も脫色も素晴らしい編物にして下さい。之こそ非常時の家庭婦人が知らねば恥しい最新技術です
出征兵士慰問用編物　支那にはもう冬の季が目前に迫つてゐる。出征の父、夫、愛兄の爲め、知人の爲め、心をこめた暖い編物を送つたらどんなに喜ばれるでせう！陸海軍推奬の新案慰問編物の新發表！！
秋の實用毛糸編物
東京市衛生試驗所發表の便利重寶附錄！
第二附錄　經濟で榮養ある食料品一覧　一汁一菜・四季の榮養獻立

南郷少佐の御兩親手記
女性の持つ二つの大きな悩み・菊池寛
戰時下の家庭生活新工夫發表
職業婦人の良緣を得る秘訣
信用厚き日本一の婦人倶樂部にのみ發表の　西本願寺嬉子裏方の特别寄稿

顏の衰へを防ぐ美容法
高血壓の人と佐藤博士の
婦人倶樂部九月號　定價六十錢